

# 【特集展示】

## 「芳賀矢一（はが・やいち）」

### 「国語教育の先見の明」

「ゐ」や「ゑ」の文字、今でも時々みかけますね。同じ読みなのに違う文字・・・？「ゐ」が「い」に、「ゑ」が「え」に統一されたのは、戦後のこと。まだ72年しか経っていないのです。けれども、この日本語の「ややこしさ」を何とかしたいと願い、わかりやすさを求めていた人たちは明治の初めからいました。その一人が、今回ご紹介する芳賀矢一博士でした。森鷗外など、明治を代表する文豪とも議論を重ねた日本語の仮名遣い問題。国定教科書の移り変わりと、芳賀博士の活躍ぶりをのぞいてみましょう。



いす？  
ゐす？



えかき？  
ゑかき？



がっこう？  
がくかう？  
がっこー？



とりにい？  
とりにゐ？

【芳賀矢一（はがやいち）】

1867（慶応3）年～1927（昭和2）年

福井市出身の国文学者。国学院大学学長、東京帝国大学名誉教授を歴任。我が国の国文学研究の基礎を築いた人物と評される。当時の教科書編纂や文部省唱歌の作成に尽力し、現在でも歌い継がれている唱歌は数多い。

平成30年1月28日（日）～3月25日（日）

## 教育博物館

（旧春江工業高校施設）TEL 0776 (58) 2250

所在地 坂井市春江町江留上緑8-1

開館時間 午前9時～午後5時（土日開館）

最終入館は、午後4時30分【無料】

休館日 毎週月曜日、祝日の翌日、ほか

